

授業科目名	異文化理解		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (社会・文化・自然科目)	
担当教員名	吉重 美紀・国重 徹・中村 勇・エルメス デイビット					補助担当者名		なし	
単位数	2 単位		履修年次	3年次		受け入れ人数		15名程度	
授業の概要	一人の人間として異文化と向き合い、平和・人権・環境など人類共通の問題解決に参加できる資質を身につけられるよう、異文化コミュニケーションの基礎知識を習得する。さらに、留学生などいろいろな文化背景の人々とコミュニケーションしていく上で手助けとなることを期待して、多様な感じ方、考え方、表現方法を体験学習的な活動を通して学生自身も体験する。またスポーツ分野での異文化交流や海外でのスポーツ指導における異文化の接触についても学ぶ。								
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標		成績評価の方法				定期 試験	その他	割合 %
			授業期間						
		授業	テスト	レポート	発表				
	■認知的領域	異文化コミュニケーションにおける非言語と言語の抱える問題点や価値観と態度の多様性を理解する。	○						30
	■情意的領域	多様な感じ方、考え方、表現方法を体験することで、異文化コミュニケーションにおける学生の気づきを促す。	○		○	○			30
■技能的領域	コミュニケーションにおける多様な行動の解釈の幅を広め、異文化背景を持った人々とのコミュニケーションを継続できる。	○		○	○			40	
成績評価の基準	レポート提出、授業中の発表、アクティビティ、ディスカッションなど総合的に評価する。								
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：『Beyond Boundaries-Insights into Culture and Communication グローバル社会の異文化コミュニケーション』（池口セシリア、八代京子著 金星堂、2014） 参考書：『異文化トレーニング-ボーダレス社会を生きる』（八代京子他著 三修社、1998） 『異文化コミュニケーション-グローバル・マインドとローカル・アフェクト』（八島智子／久保田真弓 著、松柏社、2012） 『はじめて学ぶ異文化コミュニケーション-多文化共生と平和構築に向けて』（石井敏、久米昭元、長谷川典子、桜木俊行、石黒武人著、有斐閣、2013）								
履修条件・ 関連科目	条件はないが、トピクテJapanによる海外派遣や交流協定校など海外への留学、および海外青年協力隊やJICAなど海外での就職を希望する学生および外国人留学生には、特に受講を勧めたい。		備考(教員メッセージ含む)		辞書は毎回持参すること。実習等で欠席の場合、事前に欠席届けを提出のこと。				
オフィス・アワー	吉重／国重：水曜日12:40～13:40、エルメス：水曜日15:00～16:00、中村：水曜：12：40～14:10								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	吉重 美紀	Introduction, 事前アンケート、ボーダレス社会、文化とは？				Unit I Chapter 3予習、配布資料の精読			
2	〃	Unit I Chapter 3 Space and Distance 対人距離				Unit II Chapter 5 予習、配布資料			
3	〃	Chapter 5 Gender and Communication Style 男女のコミュニケーション・スタイル				Unit III Chapter 12 予習、配布資料			
4	〃	Chapter 12 Ethnocentrism 自文化中心主義、				Chap 3,5,12＋資料でレポート提出			
5	エルメス デイビット	Chapter 6: Culture and Communication Style 文化とコミュニケーション・スタイル				Chapter 11 予習: The connection between Communication Style and Cultural Values			
6	〃	Chapter 11: Cultural Values 価値観の違い				Chapter 15 予習: The connection between Cultural Values and Discrimination			
7	〃	Chapter 15: Barriers to Communication: Discrimination コミュニケーションの障壁：差別				予習: The connection between culture and humor			
8	〃	Sarcasm: The good and the bad!				Chapter 6,11,15 レポート提出			
9	国重 徹	Unit I Chapter 2 Gestures and Body Movement				Unit II Chapter 8の予習、レポート作成			
10	〃	Unit II Chapter 8 Self-assertiveness				Unit III Chapter 13の予習、レポート作成			
11	〃	Unit III Chapter 13 Barriers to Communication: Stereotypes				レポート作成			
12	〃	異文化での生活で学んだこと～ハワイ滞在「大罪！？」記～				9,10,11回目の授業で扱ったトピックからレポート提出			
13	中村 勇	ニンジャの修行生（海外からみた日本）				Unit I Chapter 4 を予習。レポート提出			
14	〃	世界のスポーツ界の動かし方				Unit II Chapter 10を予習。レポート提出			
15	〃	異文化を理解すること				Unit III Chapter 14 を予習。レポート提出			